

地域課題解決へ

県と松山大協定

経済活性化など協力

地域の課題を解決し社会の発展につなげようと、県と松山大は29日、包括連携協定を結んだ。経済活性化や医療・福祉、地域文化・スポーツ振興などの分野で協力関係を強める。

県と地元大学との包括連携協定は愛媛大、松山東雲女子大・短期大に続き3例

目。松山大によると、ベンチャービジネスに取り組む



包括連携協定に署名する
中村時広知事(左)と溝上
達也松山大理事長

29日午前、県庁

人材などを発掘する県主催コンテストや、県に新設されるスポーツ・文化部の事業、薬学部ノウハウを生かした農林水産分野の研究などで協力する。

県庁であった締結式で、中村時広知事は「地域の発展に寄与するような協定にできれば」とあいさつ。松山大の溝上達也理事長は「人的・知的財産を提供し、地域創生に資する活動を展開したい」と話した。

(森岡岳夢)